

平成30年度定期総会 支部活動報告 資料

小樽支部（小樽市学校体育研究会）

I 小樽支部の研究について

1 研究の概要

(1) 研究主題

「心豊かに学び、達成感を感じる体育活動の創造」

(2) 研究の柱

- ①一人一人が課題を明確にして、課題解決に取り組む体育学習のあり方
- ②種目の達成感を感じさせるための授業づくりの研究
- ③体力の向上を図る体育授業のあり方

II 活動の概要

1 活動の経過

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 8月17日（木） | 総会 |
| 10月20日（金） | 北海道学校体育研究大会旭川大会 2名派遣 |
| 11月22日（水） | 授業公開① 銭函中学校 中村恵里子教諭 |
| 11月24日（金） | 小樽市体力向上実践指定校研究大会 参加 |
| 12月 8日（金） | 授業公開② 桜町中学校 難波 浩平教諭 |
| 1月15日（月） | 調査研究活動事業研究指定校・団体研修発表会 |
| 1月26日（金） | 第1回定例会
会報 第11号発行 |
| 3月27日（火） | 会報 第12号発行 |

2 第1回定例会について

- (1) 授業研究の成果と課題について
- (2) 北海道学校体育研究大会旭川大会参加報告及び環流
- (3) 今後の活動について
- (4) その他

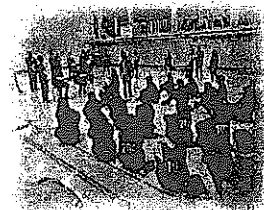
3 その他

本支部は、研究主題に基づいた研究の推進のために、会員の研究大会への派遣や研究授業の実施による指導力の向上を活動の柱としている。しかしながら、市研究会に小中別に教科部会があることから、本研究会への加入が思うように進まずにいる。特に小学校教員の参加率が低いことから小中連携の視点に立った課題研究が遅滞している。

今後も働きかけを続けながら組織の拡大と活動の充実に向けて取り組んでいきたい。

<研究授業①>

- 1 日時 平成29年11月22日(水) 5校時
- 2 会場 小樽市立銭函中学校
- 3 授業者 中村 恵理子 教諭
- 4 生徒 2年B組 27名(男子15名、女子12名)
- 5 単元名 保健分野 「傷害の防止-応急手当の意義と基本」
- 6 参観者 18名
- 7 研究協議から



成果と改善点

成果

- ・生徒は役割分担がはっきりしていたので、主体的な動きだった。
- ・生徒の動きが良く、正しい手順で救命処置を行うことができていた。
- ・教え合う場面が見られた。
- ・適時の指導ができていた。

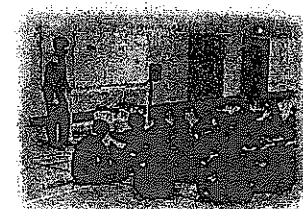
改善点

- ・救命処置実習の評価は技能なのか? 知識・理解なのか? 確認する必要がある。
- ・消防署との連携ができればさらに深まった。
- ・教え合う場面での工夫が必要。



<研究授業②>

- 1 日時 平成29年12月8日(金) 5校時
- 2 会場 小樽市立桜町中学校
- 3 授業者 難波 浩平 教諭
- 4 生徒 1年2組
- 5 単元名 E 球技 ア ゴール型 「バスケットボール」
- 6 参観者 10名
- 7 研究協議から



成果と課題

成果

- ・バスケ部の生徒が解りやすくアドバイスをし、良い関係性を見ることができた。
- ・一生懸命やる雰囲気
- ・用具設置のマネジメント
- ・観察者にポイントを決めてチェックすることでポイントの意識付けが図られている。

課題

- ・運動量の確保
- ・個に対する技術的コーチング
- ・本数以外に出来たと思える視点はないか
- ・「がんばりました」の反省があった。
→何をどう頑張るか、教師からの声掛けがあっても良い。

